

第 36 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

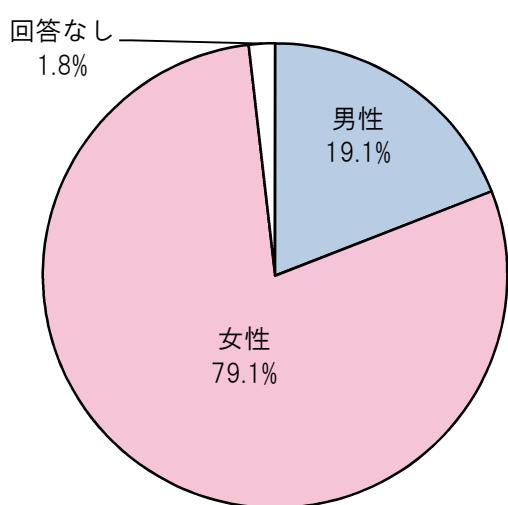
* H25.8.23 (金) 実施

会場： 福岡国際会議場

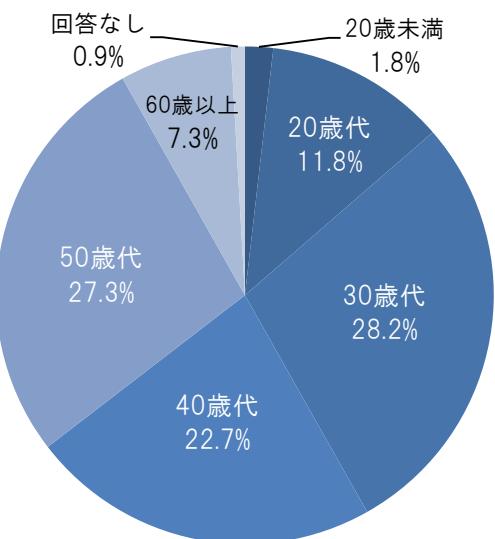
講習会参加者 125 名／アンケート回答者 110 名（回答率 88.0%）

■ あなたご自身についてお伺いします

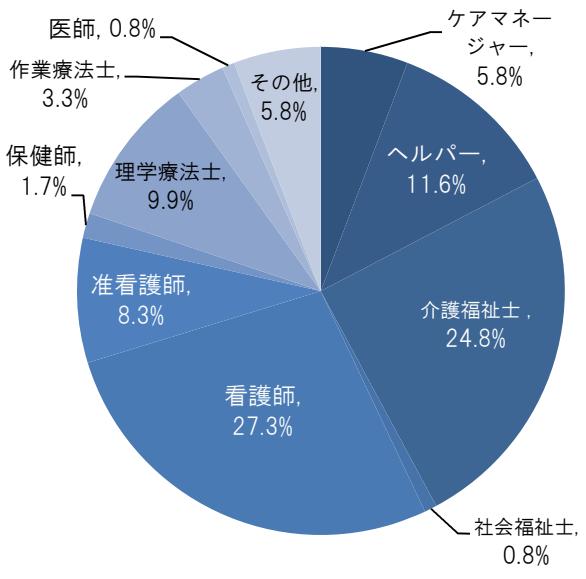
1】性別



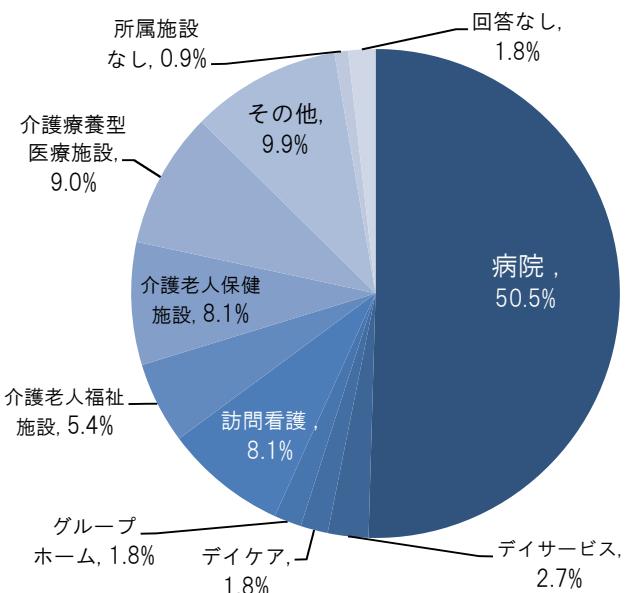
2】年齢



3】職種

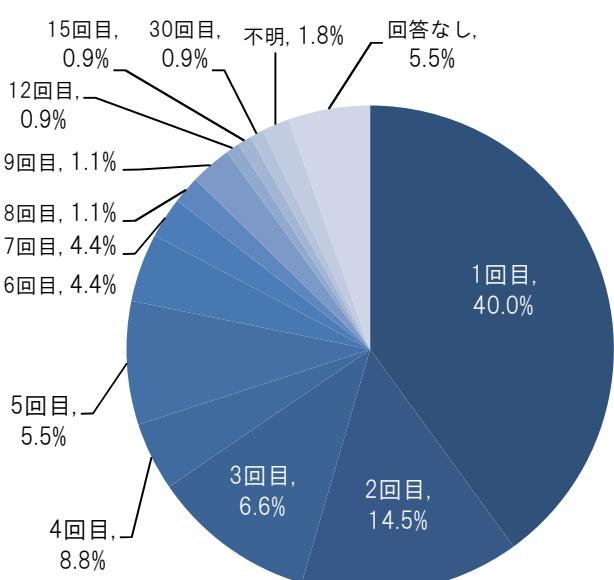


4】所属施設

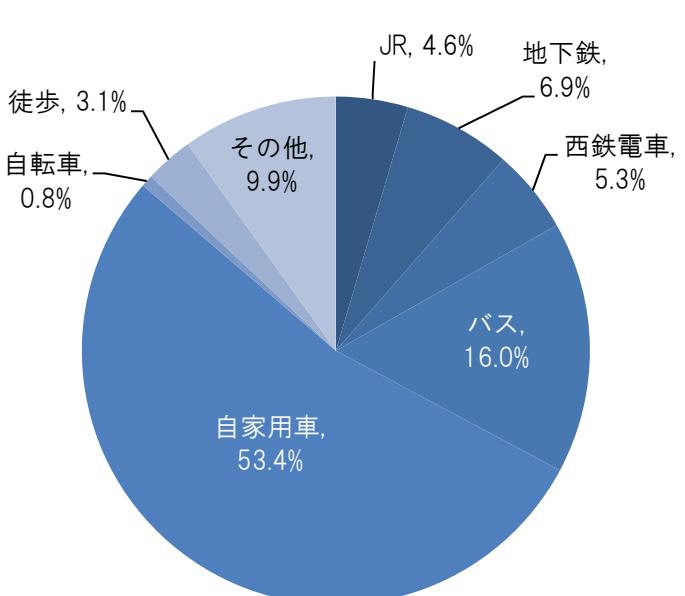


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

1】今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？

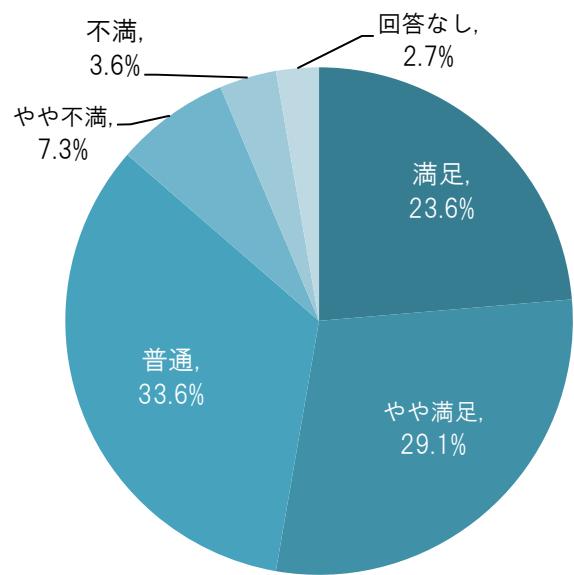


2】ご来場の際に利用された交通機関

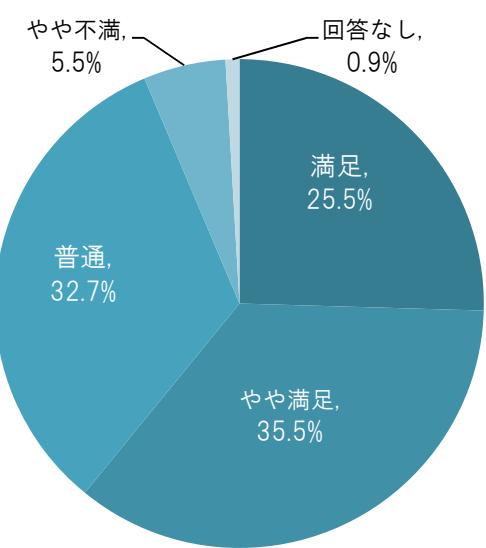


3】本日の講習会の内容について

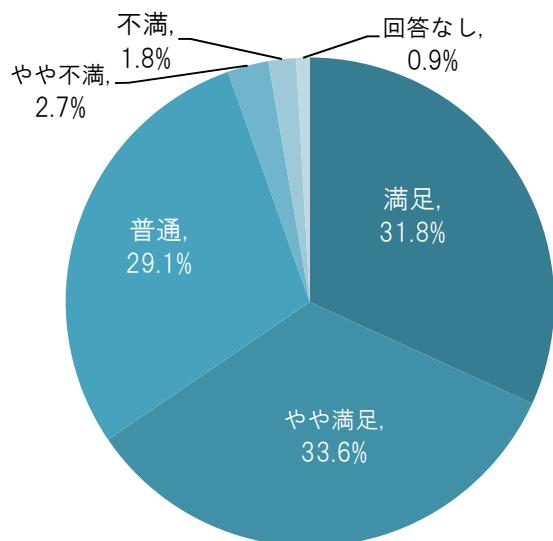
◆ 高齢者でもわかる、できるようになる 骨盤底筋体操指導



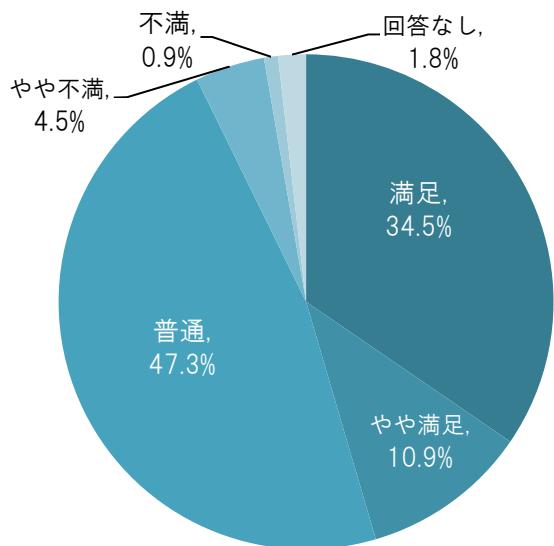
◆ トイレの中の姿勢を考えましょう ～排便姿勢指導～



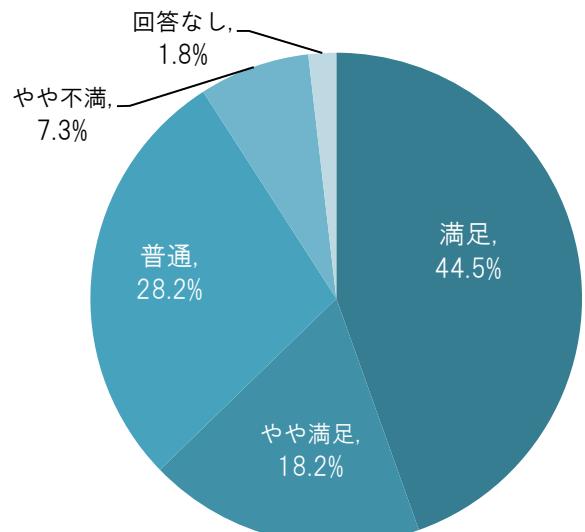
◆ 座ることから始めよう！ ～療養型病床での取り組み～



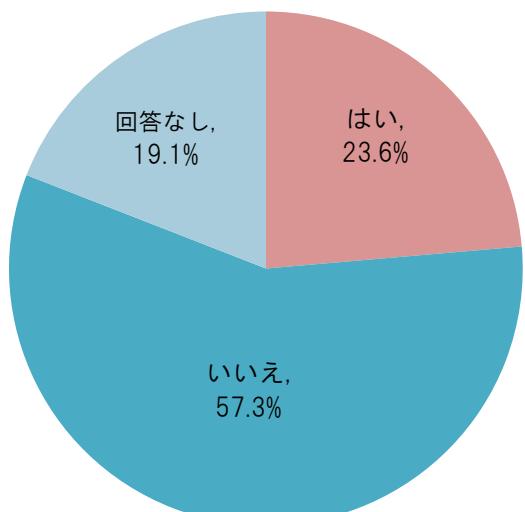
4】本日の講演時間について



5】本日の会場について



■ ニュースレターをご覧になったことがあります



6】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

講習会の感想：

- ・ 皆さん、とてもわかりやすいお話をありがとうございました。
- ・ 本日はありがとうございました。
- ・ 学んだことを現場で役立てたいと思いました。ためになり、良かったです。ありがとうございました。
- ・ 毎回ですが、学ぶことの多い講習会に参加できることに感謝しております。また、PT の役割の幅の広さを知る機会でした。
- ・ 演題 1 は具体的な方法が知りたかったです。
- ・ 演題 1 はその他いろいろな使える体操の実演指導が欲しかった。種類豊富に知りたかったです。
- ・ 演題 1 は早口で聞き取りにくかったです。

今回は理学療法士の方々が講義されていましたが、「排泄動作」に作業療法士の名前が出てこないことに若干の悲しさを覚えました。セルフケアに関わる専門家として邁進しようと思いました。

- ・ もっと詳しく話が聞きたかったです。介護職として（利用者にとって）を一番に考えて、実践していきたいと考えていますし、「知る」「理解する」「知識を高める」をずっと持っていきたい。医師、看護師、理学療法士 各部門からだけの目線でなく、介護士との連携にて患者様や利用者様の日常生活に活かせる継続できることも取り入れてほしい → チームアプローチをしていける職場づくり
- ・ 少しのちょっとしたことでも、えっ どうして？と思うほど 不穏になられる認知症の方が多いですよね。帰宅願望、金銭的なこと、とられ願望 スイッチが入れかわったように不穏になります。実例と対応策等 参考になればと思っています（よろしくです）。総合討論、初めてのことでしたが、とてもよかったです。会場の方にも質問マイクをされたり、大変良かったと思います。会場の方 眠気がとれてよかったです… ^ ^ 福祉現場勤務 25 年の内 多数の利用者さんのいらっしゃる施設から現在は 9 名 ワンユニットの施設（グループホーム）です。2 年目（新設）に入りますが、3 人オムツだった方がリハビリパンツになり、現在は布パンツ+パットにて対応になっています。発汗性の方（1 名）、排泄時間が長い方（4~5h あく）（2 名）2 年の間に 7 名のスタッフ 介護福祉士はひとりのみ あとは現場経験のみといった所です。スタッフ間は皆仲良く連携がとれ、すばらしいスタッフと最後の職場になろうかと思います（年ですので）。いまの勉強会を生かし、若いスタッフにいろいろ伝えていきたいと、一生懸命この講習会で勉強させていただき、学んでいます。排泄ケア大好きです。パット使用 1 日ゼロのときはとてもうれしいです。今日の話を聞き、施設の建物や不便さはいっぱいありますが、物は不足してもやれることはあると信じて仕事に仲間と頑張っていこうと思っています。

講習会で取り上げてほしいテーマ：

- ・ C レベルの方（坐位がとれない方）に対する排便の取り組みについて
- ・ 便意のない方への対応
- ・ 具体的な骨盤底筋体操の評価と方法

- ・ オムツはずし・頻尿の方への対応
排泄の変更に伴い、ユニット内でのケアの統一のやり方・進め方
- ・ 睡眠と排泄について
- ・ 留置カテーテル中の看護、管理について
- ・ 認知症の排泄ケアについて
- ・ 認知症患者の排泄パターンについて
- ・ 認知機能低下があるが、排泄動作は自立している人の排泄確認方法
- ・ パーキンソンの治療、リハビリについて取り上げてほしい
- ・ 緩和ケア、褥瘡ケアにおける排泄ケア
- ・ 植物状態の方の排便コントロールの方法（薬の使い方、良い便を出す方法）
- ・ 消化器系について
- ・ 実技等、プログラムの実例など
- ・ 個別のアセスメント（排泄）の事例

会場について：

- ・ 部屋の中が非常に寒かったです。
- ・ クーラーが効きすぎでした。
- ・ 冷房が効きすぎて寒かったです。
- ・ 会場は駅に近ければ満足でした ^ ^

その他：

- ・ もう少し早い時間帯をお願いしたい。
- ・ 開始時間が遅すぎる。
- ・ 土曜日 午後 昼間にしてほしい。
- ・

■ 今後、ニュースレターに掲載してほしいことがございましたらご記入ください。

- ・ 排泄、ワンポイント（実践対応）